

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

ガソリン生活

著者名	伊坂幸太郎	発行年	2013年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	413ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4022510624
コメント	今期は、ちょっと変化球。とても楽しい小説をトップに置いてみます。 車が喋るんです！ワイパーをわくわくさせたり、ピストンをどぎまぎさせたり、トランクをあたふたさせたりしながら、車同士でじつは賑やかに噂話の交換をしてるんです。主人公、もとい主車公はかわいい緑のデミオ君と、彼の所属する望月家のみなさん。 ミステリーなのに、くすくすほのぼの。伊坂ワールドの真骨頂です。 下↓の挿絵集と一緒に楽しむのも一興。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ねりものや ☆☆	基本的に伊坂幸太郎は得意でなかったのだが、ゴールデンランバーが面白かったので、これも挑戦してみたものの、しかしやっぱり文体のせいかストーリーに入り込めず… 今度は寺田克也式から入ってみたいと思います。			
	最初の数ページ	20P (15分)		2013/07/31 23:06:09
river.i ☆☆☆☆	友達から散々伊坂さんを勧められていて、今回初めて読んでみました。 他の感想にもあるように伊坂ワールドなるものに驚きました。 まさか車が語り手とは。笑 こんなに楽しめながら読めるミステリーがあるとは。笑			
	全て	413P (120分)		2013/07/30 15:07:11
おいしい ☆☆☆☆☆	これぞ伊坂さんの本、といえる一冊だと思います。 車視点という斬新さ、「あれはそういうことだったのか！」と驚かされる伏線回収など、楽しんで読めました。			
	全部	413P (150分)		2013/07/30 01:13:02
555 ☆☆☆☆	車が主人公の話、珍しい、おもしろいと思いました。 伊坂幸太郎の本は全部、読みやすい文体で、またたくさんの伏線がはられているので、自分で先を考えながら読めて楽しいです。			
	全部	410P (120分)		2013/07/26 08:25:20

フェリー ☆☆☆☆	車がしゃべる！車に乗ってるとこの本を思い出しちゃいます！			
	1-413	413P (180分)		2013/07/25 11:45:24
neueziel ☆☆☆☆	車視点の話でうまく話を動かしていった、なんとなくトーマスを思い出した。伊坂幸太郎はアツガイの可愛さもわかるとかすごすぎ			
	全部	413P (300分)		2013/07/16 10:33:55
曦 ☆☆☆☆	<p>楽々でこの本を読みました。</p> <p>行先がコントロールではないのに、「行先不明なら、不安心です」と思って、まるで人間のような車の世界で、人間さえ知らない事が流れています。伊坂幸太郎の考え方は面白いですね。</p> <p>登場人物なら、「可愛げなく、大人っぽい」の亭がすぎです。「小さくなくても、&#22836;脳は同じ」のコーナンじゃないか？両方もミステリーと言ってますが、最近のコーナンがアクション映画になり、この本もミステリーよりライトノベルのほうに近いではないですか？</p> <p>最後に、ツッコミがあります。伊坂幸太郎がどんだけ乱入が好きですか？「父親が4人もいる」とか、「体育館のあの事件」とか、以前書いた小説であった物でしょうか？しかし、そういう事がわかったら、逆に笑います。</p>			
	全部	413P (300分)		2013/07/14 23:25:06
マルメロ ☆☆☆☆	最後まで車たちは傍観者にすぎないのにここまでイキイキとしているなんて。個性たっぷりの車たちのおしゃべりをもっと聞いていたくなりました。			
	全て	413P (120分)		2013/06/27 23:45:23
じゃけん ☆☆☆	普段はこのような本を読まない自分でも、なんとか読み終えることが出来ました。車が主人公と変わった設定ですが、普段走っている車も噂話をしていると思いながら読むと、不思議と現実味を帯びてきて面白く読めました。			
	全て	413P (300分)		2013/06/24 16:37:01
ほしほし ☆☆☆☆	車が主人公ということで、楽しげな作品と期待して読み進める。しかし、伊坂幸太郎の作品。いい意味で期待を裏切られ、様々な伏線が用意された重い話だった。車が語る作品ということで、全体的にはおもしろい内容だったと思う。			
	1-413ページ	413P (120分)	1-10ページ	2013/06/08 15:37:45
daaasuuu ☆☆☆☆	伊坂幸太郎の作品のすごいところは様々な伏線がしっかりと回収されているところで今回の「ガンリン生活」でもそこが楽しめる。話の内容は明るいものではないけれど、車の視点で物語を進めていくことで楽しく読めるようになっている。			
	全部	413P (360分)		2013/05/21 12:42:40
quench ☆☆☆☆	車が語り手という小説は新鮮だった。デミオは丸い性格など、それぞれの車の性格付けが面白い。ミステリーならではのハラハラ感があり謎解きも凝っていた。			
	全部	413P (320分)		2013/05/20 15:21:05

はな ☆☆☆☆	<p>物騒なシーンも多いのに、とても可愛い作品。亨(主人公家族の次男)の賢さが現実離れているが、彼を筆頭に登場する人々や車がとても優しく、ラストにはしっかり心温まる。</p> <p>やはり車達が人間に想いを伝えられないのがじれったい、そこに趣があるのかもしれないが。ラストの翠ちゃんみたいに車の声を聴けるキャラが出てくる続編なんか面白いかも。</p> <p>しかし、自分がいつも伊坂さんに感じる(他に三冊程しか読んでいないが)御都合主義的な部分はやっぱり気になってしまったので、そこで減点。彼の作品は偶発的な要素がとても多いので、その部分で冷めてしまうこともある。仙台等を舞台にし現実味を持たせるなら、もう少し現実的に書いて欲しい。その観点からいうと、多少じれったくもやはり車の声は聞こえなくても良いのかも、なるほど。</p>		
	全部	413P (300分)	2013/05/20 14:13:59

vecky ☆☆☆☆	<p>今まで伊坂さんは読まず嫌いでしたが、最初の数ページを読んだことで印象が変わりました。凄い作家だと思います。</p> <p>車は好きでもなければ、免許も持っていない私ですが、これから車を見る目が変わりそうです。</p> <p>とても面白い脚本でした。</p>		
	全部	413P (300分)	最初の数ページ 2013/05/20 11:09:32

はやぶさ ☆☆☆☆	<p>テンポよく進む。ただ、中盤超えると、車ネタに飽きてくる。某ブランドを誉め、アテンザをハッチバックとしたので☆。アテンザはワゴンじゃ!?</p>		
	全部	413P (180分)	2013/05/13 15:21:44

フラン ☆☆☆☆	<p>車たちがかわいいですね。外っ面はやっぱり内面にも影響してくるのでしょうかね? 良い感じに人間の持つ感情などを車でも表現する技はどこかで真似させていたきたい(多分そこまで特筆するほど凄いてわけじゃないけど)。</p> <p>また、車たちが知っていて人間が知らない。でも車は人間に伝えることができないことがやっぱりじれったい。そのじれったさはやっぱり人外がないとできませんね。</p> <p>主人公?(子供)の勇氣には恐れ入る。多分この小説の中の根である「人間の99%は失敗」という引用がそれを物語る。</p> <p>また運転者の言いなりに車はならざるを得ないが、人間は行動するためには自分が決定しないといけない。受動者・能動者の対比も車を用いて効果的に表れているようにも思われる。</p> <p>また、車たちが知っていて人間が知らない。でも車は人間に伝えることができないことがやっぱりじれったい。そのじれったさはやっぱり人外がないとできませんね。</p> <p>一部(特に前半)だけだと、車たちのコミカルさが際立ってしまうので、上記のようなメッセージは届きづらいかもしれない。だからと言って後半からよくこともおすすめしにくい。やっぱり推理小説のようなものを最後まで読むのは面白みに欠ける(笑)。</p>		
	全ページ	413P (180分)	2013/05/12 21:23:35

recald ☆☆☆☆	<p>論理的というよりは感覚的な推理が多く、たくさんある手掛かりの真偽を考えるタイプで、ミステリーの中でも独特な感じがした。本心を口に出そうとしても思いとどまるシーンが多くて、そこが面白いと思った。</p>		
	全部	413P (420分)	110ページ 2013/05/10 13:10:38

ひゃくたむ ☆☆☆☆	<p>題名を忘れたけど財布が話す小説を思い出した。</p> <p>ただ、車特有の表現や事件との絡み、また伊坂幸太郎らしいコミカルな文章が楽しめた。</p> <p>車は正面から見ると顔みたいな形をしているから車が喋る妄想もしたことないとは言わない。</p> <p>でも、人間は車の言葉がわからないのに、車は人間の言葉わかるなんて車ずるいぞ</p>		

	全部	413P (240分)		2013/04/29 20:33:57
candy ☆☆☆☆	この小説の世界に入りこんでしまいました。 車たちの会話がとても面白い。 こんな風に車がしゃべっているんじゃないかと思う。 どこかリアリティーがあり、車のきもちに共感できます。			
	1-413	413P (400分)		2013/04/22 15:54:28
はまじ ☆☆☆	「いいか、人間には、認められたい、役立ちたい、褒められたい、という三大欲求があるらしい。」 就職活動中の私がいいなと感じた文章です。このセリフが、業界一位か中堅の会社で迷ってる私に答えをくれました。やっぱりお金よりも、役立ちたい欲求が強いんだと思います。この本には、キャラクターの利権だけで生活してる男が登場しますが、彼にも、認められたい、褒められたいという欲求がありました。そこで、キャラクターの利権を守るために身につけた画像編集の力で、ある家族のピンチを救います。エンジニアはどんなに頑張っても年収2000万円。一方、人は年収200万円で生活できます。私も精神的な豊かさを求め、中堅どころの会社に推薦を出すことに決めました。			
	1-413	413P (300分)	42-45	2013/04/19 12:59:24
あきう ☆☆☆☆	伊坂ワールド全開です。物事すべてすっきり明らかにさせてるわけじゃないのに、じっくりこない点がないところがすごい。あまり車に乗る機会はありませんが車を大事にしたくなる本でした。大きくなった亨くんには確実に惚れちゃいます。			
	全部	413P (240分)	246-265	2013/04/17 16:32:05
iksk ☆☆☆☆	人間は知らないが車たちは知っている噂話がある。 今回車が語り手なので、読んでいるこっち側としては「車が喋れたりできればなー！」と思いました。 ストーリーもどンドン読める内容で面白かったです。			
	全部	413P (250分)		2013/04/15 20:17:20
Harley Davidson ☆☆☆☆	新聞の連載された小説は、やっぱり面白いですね。 ばらばら一っつしか読んではいないけれど、よくこんな小説を思いついたもんだなーって思いました。 車がしゃべるので、あきれたときは「開いたボンネットがふさがらない」など、普通とはちょっと違う表現がありました。			
	半分くらい	100P (20分)		2013/04/12 21:30:32

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

寺田克也式ガソリン生活

著者名	寺田克也	発行年	2013年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	240ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4022510754
コメント	読んでから見るか、見てから読むか。 映画の話ではありません。上↑の『ガソリン生活』の新聞連載時の挿絵300枚をまとめてみました。活字でイメージをつかったあと、ばらばらめくって、ああこういう映像化もありなのかと違いを楽しんだり、挿絵でイメージを立ち上げたあと、活字を読んでごまかな心象を肉付けしたり。もちろん同時並行もできます。 自分は活字人間か映像人間か、この機会に試してみませんか？		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆	個人的にはあまり好きな絵柄ではなかったかな。どことなくこわい…。 評価は個人の好き嫌いによるのかなー。 どちらを先にしたほうがいいのかと聞かれれば断然小説版です。			
	全て	240P (100分)		2013/07/30 15:17:04
潤 ☆☆	内容がよくわからないし、絵があまり好きじゃないから、最後まで読んでつまらなかった。			
	全部	240P (240分)		2013/07/30 15:12:44
フェリー ☆☆	内容がうまく理解できませんでした。絵があまり好きではありませんでした。			
	1-50ページ	50P (30分)		2013/07/15 23:16:41
rk ☆☆	確かに、小説の方を読んでみないとよくわからないところがあります。漫画とも違うというか、漫画にあるストーリーを繋いでいる部分が欠如している気がしました。 挿絵が並んでいるような感じです。 何より、絵があんまり好きじゃなかった。			
	1-157	157P (100分)		2013/06/22 12:00:11
ruke ☆☆	小説でもないし、漫画でもないし、難しかった。読み方としては小説を読んだ人が読むべき本だと思う。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

	全部	239P (120分)	なし	2013/06/18 12:31:14
kabadie ☆☆	本を読んでいるとか、漫画を読んでいるとかそういう感覚ではなくて、一本の映画をだーっと見ているようなそんな感じ。 流れていく景色と言葉が最高。			
	1-240	240P (60分)	48-49	2013/06/17 20:36:35
はな ☆☆	小説を読んでからばらばら見ましたが、小説読まないと全く分からないだろうなといったところ です。小説を読んでから見た感想としては、あまり新しい発見はなかったかなという感じ。玉田憲吾 が自分のイメージより太っておじさんだったとか、その程度の細かな違いはあった。でも、もっ と絵ならではの表現で自分のイメージを完全に再現してくれてたりだとか、逆に自分のイメージと は全く違ってびっくりだとか、想像を超えた感動があっても良かったように思います。小説と一 緒に挿絵として見るのができてたら、もっと良かったのかも。個人的には一つの作品としてみる と微妙でした。			
	全部	240P (40分)		2013/06/10 16:34:38
daaasuuu ☆☆☆☆	小説の方を読んで内容が頭に入っていたので、絵だけをどんどん見ていきました。 小説の方は全体として楽しげな印象を与えるのに対して、こちらの方は若干不気味な印象を受けま す。同じ内容の話ではあるけれど、この対比は面白いと思います。 また、エビログを漫画にしてくれたのは個人的には嬉しかった。			
	全部	240P (20分)		2013/05/21 18:59:48
vecky ☆☆☆☆	小説だけだと、登場人物の顔は自分で想像しなくてははいませんが、これを平行して読めばさらに 強い印象が残ります。 最初はこちらから読みましたが、意味不明でした。 小説から読みましょう。 この絵面、個人的に大好きでした。			
	全部	240P (120分)	人物の顔	2013/05/20 11:12:45
しろ ☆☆☆	バラバラっと最初から最後まで読んでみたけど登場人物がよくわからなかった。やっぱり小説読ま なきゃ内容はわからない気がする。時間があれば小説読んだあと再挑戦したい。 ただ内容無視して絵だけ見ると、なんだか寺田克也さんの絵の虜になってしまいそうでした。			
	全部	240P (40分)		2013/05/07 18:01:59
PON ☆☆☆	小説未読で読んでみたのだが、場面の展開が急すぎてよく分からなかった。小説のほうから読めば よかった。			
	1-239	239P (40分)	150,151ページ	2013/05/06 23:37:12
candy ☆☆☆	先に小説の方を読まないと、状況がよくわからない思う。 展開がはやいし、登場人物がよくわからない。 ので、先に小説を読むことをお勧めします。			
	1-240	240P (200分)		2013/04/22 15:58:36
quench ☆☆☆☆☆	独特な視点で物語が展開されていた。 これまでにない斬新なスタイルで面白い。			
	全部	239P (60分)		2013/04/16 21:05:51

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

目で見ることば

著者名	おかべたかし/山出高士	発行年	2013年
出版社名	東京書籍	ページ数	176ページ
値段	1,300円	ISBN	978-4487807871
コメント	なるほど、灯台もとくらし、だ。ナットク！ 表紙の荣誉に預かった引っ張りだこくんやら、几帳面って建築用語だったのとか、へえほおふうんと、つい誰かに話したく、もとい、見せたくになります。 なかでも、ヒイキくんのかわいらしさにぞっこんです。見つけてあげてくださいな。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
いわし ☆☆☆☆☆	金字塔とか試金石とか、反りが合わないとか、普段よく聞くし、たまに自分も使ってるけど、いまいちよく分かんないなあっていうような言葉が写真と語源とともに紹介されていて、すごく面白かった。これでどや顔で難しい言葉使えると思った。			
	全部	175P (30分)	58	2013/07/31 11:44:15
daasuuu ☆☆☆☆	写真集の良さが分からない私でもこれは楽しめました。			
	全部	176P (20分)		2013/07/29 17:26:32
iksk ☆☆☆	まさに言葉の通り。 知らなかった言葉も写真や絵で見るとわかりやすいですね。 ただ、見たくないものもありましたが。			
	全部	176P (10分)		2013/07/17 16:19:06
kabadie ☆☆	「とどのつまり」が魚だとは夢にも思わなかった			
	全部	165P (15分)	128	2013/07/16 17:03:17
AM5:42 ☆☆☆☆☆	最初見たときに思ったのは「写真がきれい」だということ。 普通のことわざ事典や国語辞典と違って、「使っているけど知らない意味」が厳選されているため、とても読みやすいし、さらに詳しく調べたい内容だった。			
	全部	176P (150分)	32	2013/07/16 15:04:27

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

<p>フェリー ☆☆☆☆☆</p>	<p>すごく面白かったです！！おしどりを初めて見ました。 灯台もと暗しの灯台って犬吠埼とかにある灯台じゃないんですね・・・。ずっとそう思い込んでました。オススメの一冊です。</p>	<p>1-176ページ</p>	<p>176P (30分) 2013/07/15 23:23:13</p>
<p>はな ☆☆☆☆</p>	<p>作り手二人の気持ちというか熱意が伝わってきます。手作り感と、文や写真から感じられる温かさが一貫していて良いです。 おしどり夫婦の写真が可愛い。派手なのが夫で、奥さんは控え目に夫を立ててるとか感心。動物や昆虫って雌の方が派手なのがが多いイメージでした。でも、普段はそんなに仲良くないとか知りたくなかったような気もする。</p>	<p>全部</p>	<p>173P (60分) 2013/07/10 17:20:11</p>
<p>rk ☆☆☆☆</p>	<p>ことばの意味・語源が写真で表されているのが、わかりやすく面白。 拍車をかけるは全然知りませんでした… 言葉がどうやってできているのかって、全然知らないものですね…</p>	<p>全部</p>	<p>176P (50分) 136-139 2013/06/22 11:52:22</p>
<p>ひゃくたむ ☆☆☆☆</p>	<p>立ち読みポイントに挙げた二つが特に面白かった。 文章、写真それぞれにクスッと笑えるポイントがあるのがとても良い。 あとがきを読んでから、また写真を見ると初見の時と違って見えるから不思議。いやきつと写真を撮る苦勞がわかったからなのだろうけど。苦勞してるんだけど、苦勞してないように見せる控えめな所、好きです。</p>	<p>全部</p>	<p>176P (15分) 試金石 羽目をはずす 2013/06/18 18:32:22</p>
<p>book9648 ☆☆☆</p>	<p>剣ヶ峰といえば富士山の山頂、標高3,776m地点のことであるということは知っていたが、剣ヶ峰にそういう意味があるとは知らなかった。 写真を集めるのに苦勞したそうで、どの写真もうまく撮れている。 豆知識が盛り込まれているのも面白かった。</p>	<p>全部</p>	<p>175P (60分) 66 2013/06/11 12:32:56</p>
<p>555 ☆☆☆☆</p>	<p>クスリと笑えるかわいい本。文章だけなら、ふーんと思ってしまうだけかもしれないが、ビジュアルがあることにより、おもしろ楽しく読むことができる。言葉も優しく、人に不快感を絶対に与えない本。</p>	<p>全部</p>	<p>176P (60分) 勝負服のところ 2013/05/28 23:27:44</p>
<p>14 ☆☆☆☆☆</p>	<p>私たちの日本語には、ふと使っていてどのような由来からの慣用句なのか理解しにくい言い回しが多い。これは、それぞれの言い回しが昔の日本文化を反映する言葉だったり、ごく一部の地域の言葉が広まった言葉であったりするためだ。 皆意味は何となく知っているのだが、言葉の由来を知らないという矛盾を解消してくれる一冊。絵で見て分かり易く説明されていて非常に読み易い。</p>	<p>全て</p>	<p>173P (20分) 2013/05/21 12:26:56</p>
<p>コアラ ☆☆☆☆☆</p>	<p>効果的な写真とシンプルな説明が、言葉の意味をより深く理解することを手助けしてくれた。133ページの写真がかわいい。語源を知ること、言葉の正しい意味を知ること、言葉って面白って単純に思わせてくれる本だった。</p>		

	全部	173P (60分)	133ページ	2013/05/14 12:35:20
はまじ ☆☆☆☆☆	<p>クスリと笑ってしまいました。私が気に入った一枚は、勝負服です。勝負服というのは女子とデートするときに着る服のことだと自分の中で勝手に思っていました。</p> <p>また、コロンブスの卵のコメント欄に「やってみると見事に立った」とありますが、写真に写っている卵の下側が半壊状態になっていることから、この写真たちを撮るのに苦労しているのだと感じました。気楽にすぐに読める一冊です。</p>			
	1-173	173P (90分)	90	2013/05/07 10:55:17
25 ☆☆	<p>気に入った写真は3枚ほど。さらっと読める感じ。刀剣博物館は今度行ってみようと思いました。「玉虫色」「もぬけの殻」がきれいに写りすぎて気持ち悪かったので減点。</p>			
	すべて	176P (40分)	p17,p45,p149	2013/04/27 13:07:38
BBB ☆☆☆	<p>適当に読み飛ばすつもりが熟読してしまいました。</p> <p>タイトルを見る限り、イラストの力技なのかと思いきや、簡潔に言葉の由来が書かれており、印象に残りやすいように工夫されていました。</p> <p>教科書が全部こんな書き方だったら僕も効率良く勉強出来たんだらうなと思います。</p>			
	全部	176P (40分)		2013/04/22 18:07:15
おさむ ☆☆☆☆	<p>思わず、「へ〜」と吐露してしまう今まで有りそうで無かった本。</p> <p>事物生成の原点に回帰することで、その本質が見えることの重要性を改めて認識させられました。</p> <p>そりゃ、たまには馬だった羽目を外したいよ！！</p>			
	全ページ	173P (60分)		2013/04/18 08:36:41
まるちぶる ☆☆☆☆	<p>写真が素敵。あとがきを読むと、更に素敵に見えてきます。「頭隠して尻隠さず」なんて場面、なかなか撮るチャンスないもんなあ。</p> <p>この手の語源解説本ってどうも味気なくていけ好かないが、本書に関しては解説にも苦労の跡が窺える分(!), 無味乾燥の気を全く感じなかった。「知ってるよそんなこと」なんていう項目でも楽しめるというのは、雑学好き・本の虫には不可欠の要素ですね。いやぁ佳い。</p>			
	全て	175P (50分)	pp.16-19, pp.124-127	2013/04/09 16:21:22

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

日本人の知らない日本語 1・2・3

著者名	蝦蔵&海野凧子	発行年	2009年
出版社名	メディアファクトリー	ページ数	100ページ
値段	880円	ISBN	978-4840126731
コメント	国際交流最前線。 日々コレ疾風怒濤のナギコ先生と一緒にどうぞ。ドラマ化まで行くブームになったのもナットクのおもしろさと含蓄深さです。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追上げ ☆☆☆	確かに間違っ使ってる日本語はたくさんあるなーと思った。特に共感出来たのは～の方っていう言い方。あれは聞く度、方って何だよって思う。ただ言語は変わっていくものだから、あまりにひどいのは除いて細かいのはそこまで気にしなくていいのかなという感想。そんな知らなくても問題ないやろっていうのもちらほら。			
	1巻	100P (40分)		2013/07/31 15:57:48
はやぶさ ☆☆☆☆☆	普段は気づきもしない日本語の奥深さが数多く指摘されていて、読んでいて飽きないです。それにしても、ここまで日本語を使いこなせるカイジンさんってすごいなと思います。			
	3巻全部	461P (461分)		2013/07/30 17:34:22
river.i ☆☆☆☆	マンガで日本語を勉強している外国人は本気をマジと読み、敵を友と読む。面白いと思ったし、その後なるほどなーと不思議な感覚になりました。そんな感じの話がたくさん入ってます。ほのぼの感がにじみ出てる絵柄も好きです。			
	全て	100P (100分)		2013/07/30 15:54:53
潤 ☆☆☆☆	キャラクタがとてかわいくて、思わず笑っちゃいます。ドラマより面白いと思います。笑いながら色々日本語の表現が覚えるので、とても読みやすく役に立つ本だと思います。			
	全部	461P (461分)		2013/07/30 13:15:16
はな	日本語を一から学ぶことに比べれば、日本人が英語を学ぶことって結構簡単なじゃないかかと思いました。本の趣旨とは外れますが、これからは苦手意識を捨ててもっと英語も頑張りたいです。笑			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

☆☆☆	漫画はキャラがイキイキとしてて可愛い。	3巻	158P (60分)		2013/07/15 13:36:50
こだま ☆☆☆☆	漫画なのでとても読みやすかったです。 本編も楽しめますが、個人的にはコラムの「量化」が一番面白く、ツボになっていました。	2巻	100P (30分)		2013/07/09 17:20:54
はまじ ☆☆☆☆	電車の中で読んでいたら、思わず吹き出してしまいました。 特に、点と丸の由来が適当でびっくりしました。絵とギャグがかみ合っていて最高です。	2 1-157	157P (90分)	106-113	2013/07/05 11:34:44
じゃけん ☆☆☆	自分がどのような日本語を使っているか意識するようになった。母国語なのだからもっと言葉に対して鋭敏になるべきだと感じた。	すべて	150P (90分)		2013/07/01 11:03:57
AM5:42 ☆☆☆☆	人の文章や使い回しをまねてきたからなのか、自分も日本語の意味や由来を知らないものが多々あった。大人になるとなぜ?という思考が衰えるのを最近実感する。。。。	2巻	100P (30分)		2013/06/29 00:24:29
しろ ☆☆☆	「日本人の知らない日本語」と言うよりは「日本人の知らない日本語学校の実情」というタイトルがふさわしいような内容。日本語について普段何も考えていないと言うことを痛感させられた。	1,2,3巻	100P (60分)		2013/06/28 18:32:38
マルメロ ☆☆☆	生徒たちの真面目なのにどこか検討はずれになってしまっているところがおもしろく、つつい笑ってしまいました。 日本語について学ぶには物足りませんが、途中に入るエッセイは興味を持つ第一歩には十分な内容だと思います。	1. 2. 3	100P (90分)		2013/06/27 23:49:06
book9648 ☆☆☆	コミックなので誰でも簡単に読める。内容も難しくない。 ただ、もう少しボリュームがあったらいいと思った。 日本語教師の苦労もわかった。	2巻	159P (80分)	106	2013/06/18 12:33:56
PON ☆☆☆☆	内容的には日本語よりも日本語学校に通う外国人がメインな感じ。 インドの手を使った数の数え方は驚いた、片手で16まで数えられる	3の全部	157P (60分)	82ページ	2013/06/16 23:42:54
PON ☆☆☆☆	漫画で話題も日本語なので読みやすかった。 特に興味深かったことは敬語の話、「恐れ入りますが」と「差支えなければ」の違い。	1の全部	141P (40分)		2013/06/11 10:49:21

vecky ☆☆☆☆	こういうのは子供のころに知りたかったですね。 もう今の日本語に自信がもてません。			
	2巻、3巻	270P (180分)	エレガントなロシア人のお姉さん	2013/06/03 11:32:49
daasuuu ☆☆☆	登場人物のキャラクターが個性的で面白く、みんな日本が大好きというのが伝わってくる。他国の言葉や文化を学ぶことの楽しさを教えてくれる本。			
	2巻	158P (30分)		2013/05/28 17:59:04
0120086144 ☆☆☆	言語は生き物なので進化もするし死にもするし新しく生まれもする。歴史的経緯ではそのへんかなり分かってるのに現代において行われている言語の適者生存を「間違っただ日本語」としてしまっているのは矛盾。100年後に恥をかきそうな内容だが100年も生きている本ではないと予測してやってみたら天才だ。			
	一巻	142P (20分)	特になし	2013/05/24 16:05:20
ショーコール ☆☆☆	言われてみると説明できない事があり、なるほどと思われました。道の成り立ちとか、取の成り立ちとかの説明にはびっくりしました。			
	2巻	100P (40分)		2013/05/16 18:07:35
ちょんまげ ☆☆☆☆	家のトイレにあったうれしい本ランキング第三位！ 二位は雑誌全般 一位はきのご図鑑			
	全部	150P (30分)	全体的に	2013/05/16 08:11:49
なすび ☆☆☆☆	外国人の面白い間違い紹介だけでなく日本語の解説もしてくれているので、楽しく学びが得られた。電車の中でちよろっと読める本			
	1-158	158P (30分)		2013/05/15 16:05:57
ほしほし ☆☆☆☆☆	楽しく日本語を学ぶことができる。普段使っている言葉でも、間違いがあるのだなと発見があった。また、作中で日本語を学ぶ外国人がみんな勤勉で、日本人もこれくらい一生懸命に取り組めば、英語や中国語を話せるようになるのかなって思った。			
	1-141ページ	141P (44分)	44-49	2013/05/14 15:41:23
くい ☆☆☆☆	外国人から見た日本語は難しいんだなあと思いました。日本語の勉強にもなりました。漫画形式なのでサクサク読めました。			
	2巻	140P (40分)		2013/05/11 12:40:33
recald ☆☆☆	日本語の歴史に関する内容が多い。 主人公の先生のツッコミが面白い。 漫画なので読みやすい。			
	一巻全部	139P (25分)	106ページ	2013/05/10 13:16:42
	分かる！			

曦 ☆☆☆	日本語を勉強していたときも色々誤りがあって、笑い話になりました。この本を読むと、同感を溢れました。			
	面白い本ですが、本を面白くするために、不思議のものを出てきて、減点です。	第2全部	159P (60分)	
25 ☆☆☆	役割語の話は全く知らなかったので勉強になりました。読みやすく、研究室の留学生がこんなこと言ってたな、あるあると頷きながら読みました。			
		3巻	153P (35分)	p98-101
ruke ☆☆☆☆☆	日本語って何気なく使っているけど、外人が学ぶ言語としてはすごく難しいなと感じた。っというのも日本人ですらわからない日本語が多いし、間違っって使っている日本語が多いからである。これを読めば英語くらいできなきゃって気になります。とても面白くて読みやすいです。			
		一・二巻	288P (60分)	40-43P 第一巻
おいしい ☆☆☆	目から鱗。日本語の難しさを再認識させられる1冊でした。また漫画形式で気軽に読むことができました。緑信号を、日本人はなぜ青信号と言うのか? 気になった方はぜひ読んでみてください。			
		2巻	100P (20分)	
フェリー ☆☆☆☆☆	外国人視点から見た日本語ってこうなんだと普段当たり前に使ってる日本語について深く考えさせられる一冊でした。			
		3巻	153P (60分)	
ひゃくたむ ☆☆☆☆	月並みな言葉だが、日本語の事、知らな過ぎた！ 当たり前に使われている言語のことは探求しないけど、外国人には探求しないと理解できない。言語なんて使わなきゃダメなんだろうと改めて思いました。			
		2巻	100P (30分)	
14 ☆☆☆☆	3を読んだ後に1を読破。外国人の視点から日本語を通して日本文化の面白さを伝える本。実際に外国人に聞かないと分からなかった話が多いのと、漫画形式で軽く読めるので読書の苦手な方にもおすすめします。			
		1の全て	139P (20分)	
iksk ☆☆☆	中学とか高校とかの国語を復習しているかのようでした。 最近日本人より日本語を勉強してきた外国人の方が綺麗な日本語を使っているように思えます。これから就活なので恥をかかないように、きちんと日本語も勉強していかなくてはと思いました。			
		全部	100P (20分)	
フラン ☆☆☆	言われてみると多分私も上手く説明できない。そんなことを見るということでは結構面白かった。ただ、「問題な日本語」のダイジェスト版という印象も拭えない。言語の難しさなどを伝えるというところよりは、コメディーに近いようにも感じられる。 ラフにこの分野に触れたい方にはおすすめ。辞書的に見たい方には問題な日本語みたいな本のほうがいいかもしれません。			
		1-140	140P (40分)	

<p>14 ☆☆☆</p>	<p>内容としては、一般的な大学生の知識からしたら正直物足りないです。 漫画形式で日本語の難しさについて説明されており、すぐ読み終わります。 逆に外国人の知らない日本語のコラムが面白かったり。本嫌いな方にはおすすめします。</p>	<p>3の全て</p>	<p>150P (20分)</p>	<p>48P 挿絵(他色々) 2013/04/17 14:51:09</p>
<p>まるちぶる ☆☆☆☆</p>	<p>割と知っているつもりでいても、ぜーんぜん知らない内容もかなりありました。ニホンゴムツカシネー</p> <p>考えたのは「正しさ」です。日本語学校だからしっかりした日本語を、というところまでは納得するのだけど、パンピーにまでそれを求めるのは酷ではないですか。間違っていることが必ずしも悪ではないのでは。</p> <p>僕は尊敬・謙譲語が日常的でないからそのへんは比較的ラフでも構わないという立場だし、コンビニなり一般的な外食店なりに（本書で出てくる間違っただけの日本語の拠点！）高級料亭で使われるような敬語を求めてもいないのですが、なんだっけこう目くじら立てるひとが相当数いるのじゃないかな。自分がやってるからめえもやれって感じの気持ち悪さがあります。怒り心頭の諸君自身が恥をかくでもないのに。恥かきたくない人が自主的に覚えてTPOに沿って使えればそれでいいじゃないの。はあ。知らないことはそこまで罪ですか。</p>	<p>全て</p>	<p>144P (20分)</p>	<p>1巻 pp.22-25 マダムおもしろ！ 2013/04/16 22:41:54</p>
<p>rk ☆☆☆☆</p>	<p>面白いというよりは、ふーんって感じです。 外国人から見た日本のイメージと、実際の日本人が違うように、我々から見た外国もイメージと現実が異なるんじゃないかな…きっと。 そういうことを知った上で、いろんなところに行ってみたいです。</p>	<p>1巻、2巻</p>	<p>100P (40分)</p>	<p>2013/04/16 18:54:50</p>
<p>コアラ ☆☆☆☆</p>	<p>タイトルにもあるように、日本人の知らない日本語のオンパレードだった。会話調でストーリーが展開されるので、リズムよく読み進めることができた。物語に登場した外国人のように、常にWhy?と言葉を洞察することを忘れないようにしたい。</p>	<p>全部</p>	<p>158P (40分)</p>	<p>第一章 2013/04/15 22:48:33</p>
<p>あきう ☆☆☆☆</p>	<p>外国人からみた日本語がどのようなものかわかりやすかつ面白く書かれていて読んでいて楽しかった。現役コンビニ店員としては「～円になります」「よろしかったですか」は間違っているなどときちんと日本語を教える店が増えてほしいなあ強く思います。</p>	<p>1-141 1.2.3巻</p>	<p>459P (120分)</p>	<p>1巻 41-43 2013/04/10 12:02:27</p>
<p>みね ☆☆☆☆☆</p>	<p>やはり、文化の違いにより色々な誤解が出ていく、 この本は読んだから、その思いが心に深く出る。</p>	<p>1-158ページ</p>	<p>149P (130分)</p>	<p>14,53,86,106-113 2013/04/10 00:51:07</p>
<p>Harley Davidson ☆☆☆</p>	<p>確かに、日本人の知らない日本語がたくさん紹介されていた。 敬語も含めて、正しい日本語を使っていきたいと思う。 4コママンガがところどころあって、笑えた。</p>	<p>1-141ページ</p>	<p>141P (50分)</p>	<p>6ページ 2013/04/09 21:39:05</p>

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

日本人のちょっとヘンな英語

著者名	デイビッド・セイン	発行年	2012年
出版社名	アスコム	ページ数	159ページ
値段	1,000円	ISBN	978-4776207122
コメント	えーつ。How are you? って死語なの? No thank you. も要注意? いろいろびっくりのネイティブ英語。 日本語の凧子先生と違って、みんなセイン先生がだいきらいになることは、間違いなし!		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
river.i ☆☆	そうなのかーとは思いましたが そんなことは気にせずやっています。 まずは話せるようになってから。 いつか英語が話せるようになったらまた読んでみたいです。			
	1-100	100P (60分)		2013/07/31 14:35:09
0冊からの追い上げ ☆☆	この本は誰を対象にしているのだろうと思った。初学者はますます英語との壁ができる。上級者はこんな読まない。中級者は洋書や海外ドラマとか見た方がまし。国内で教科書参考書でひたすら勉強している人くらい? フィリピンに3か月滞在して思ったのは、文法の誤りに怯えずどんどん話すことが大切。日本以外のアジアの人は文法なんてそんなに気にせず堂々と話していたし、それで問題はないと感じた。			
	全部	159P (30分)		2013/07/31 04:01:31
おいしい ☆☆☆☆	教科書に載っている英語ってこんなに使えないんだ・・・と落ち込ませられました。 でも一番は、文法とかを間違えても相手に伝えたいと思う熱意が大事だと思います。			
	全部	159P (40分)		2013/07/30 22:05:28
じゃけん ☆☆☆	今まで聞いたことあるようなフレーズが変であることに、残念な気持ちになりました。やはり言葉は実地で身につけないと、学びにくいものがあるのではないかと感じました。			
	すべて	157P (80分)		2013/07/28 14:59:50
	さらっと読み切ることができましたが、内容は驚くものが多かったです。"How are you?			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>こだま ☆☆☆☆</p>	<p>&quot;が死語だと言われたら、中学時代の英語はいったい何を勉強していたのだろうかと思いました。 とりあえずTOEIC頑張ります。</p>	<p>全て</p>	<p>159P (35分)</p>	<p>2013/07/26 15:29:25</p>
<p>zin ☆☆☆☆</p>	<p>目からうろこ落ちまくりです。 今まで自分が変なこと言ってたんじゃないかと心配になりました。 でも、失敗を繰り返して覚えていくんですね…。</p>	<p>全部</p>	<p>159P (60分)</p>	<p>2013/07/24 12:20:18</p>
<p>massa ☆☆☆☆</p>	<p>使える英語の勉強をしたいと思いました。とりあえず、英語の会話本を買って勉強します。</p>	<p>全部</p>	<p>120P (120分)</p>	<p>2013/07/19 11:06:43</p>
<p>kabadie ☆☆</p>	<p>和製英語になじみすぎると、直観的に使う英語がこんなに変になってしまうのかと感じた。 本物の英語を、日本で広めていくようなこういう本はとても役に立つ。</p>	<p>全部</p>	<p>157P (15分)</p>	<p>52-57 2013/07/16 16:52:20</p>
<p>AM5:42 ☆☆☆☆</p>	<p>日本人の感覚ではわからない知識が満載だった。 特にことわざや俗語になると、知らず知らずのうちに使っているかもしれない点がこわいな、と思った。</p>	<p>全部</p>	<p>159P (180分)</p>	<p>どこでも 2013/07/16 15:19:47</p>
<p>潤 ☆☆☆☆</p>	<p>なかなか面白くて、笑える本ですが、読み終えたら、私は英語をしゃべる勇気がなくなっちゃった。。。</p>	<p>全部</p>	<p>159P (159分)</p>	<p>2013/07/15 21:30:21</p>
<p>しろ ☆☆☆☆</p>	<p>これまで習ってきた英語を全否定してくる内容にちょっと凹んだ…それでも結局のところ実際に英語を使っている人たちと物怖じせず話をするのが英語学習の近道なんだなぁと思った。</p>	<p>全部</p>	<p>159P (60分)</p>	<p>2013/06/28 18:35:17</p>
<p>book9648 ☆☆☆☆</p>	<p>絵が面白いので読みやすい。 いいかげんな英語ではなかなか通じないことが分かったので、ちゃんと英語の勉強をしたいと思った。</p>	<p>全部</p>	<p>159P (120分)</p>	<p>92 2013/06/25 12:33:49</p>
<p>14 ☆☆☆☆☆</p>	<p>いやー、こんなに教科書英語って役に立たないんですね。 自分の勉強していることに意味があるのか疑問に思ってしまうとともに、時間ができたら外国に語学留学しようと思いました。</p>	<p>全て</p>	<p>159P (20分)</p>	<p>2013/06/13 18:33:24</p>
<p>daaasuuu ☆☆</p>	<p>自分もそうですが、英語を話すのが苦手な人はより話すことへの苦手意識が増すのではないかと思います。 終わりの部分に「間違えるから話せるようになるので、どんどん英語をしゃべりましょう」とは書いてありますが、これだけ間違いだらけだとへこみます。</p>			

	全部	159P (30分)		2013/06/06 17:31:27
ショーコール ☆☆☆☆	今まで使用してきた例ばかりでできて、それが変な風にとらわれてしまうのかと思うと少しショックでした。自分の英語は大丈夫だろうと思っている人も一度是非読んで欲しいと思います。			
	全部	159P (50分)		2013/05/30 12:02:55
曦 ☆☆☆	<p>読んでいる間に、もし漫画じゃなかったら、この本はつまらないだろうと思っていました。漫画であると、面白かったです。</p> <p>第二章を気になって、日本人が英語を話すときに、a,theの違いとat,inなどの使い方をよく間違っているかという疑問を抱いていました。</p> <p>本と関係ないかもしれませんが、Chinglishという中国人の英語の言葉もあります。もし漫画になると、面白いと思います。</p>			
	全部	159P (60分)	最後	2013/05/22 16:02:38
25 ☆☆☆	<p>絵が可愛らしく、さくっと読めました。</p> <p>そんなんどっちでもいいやろ！とも思ってしまいますが、こんな風にやさしく教えてもらいたいです。</p>			
	すべて	159P (35分)	p68-70	2013/05/07 15:47:48
フェリー ☆☆☆☆☆	今まで学校で習ってきた英語を英語圏の人にそのまま使ってしまうとヤバイ事態になってしまうかも・・・。内容はかなり面白く、笑ってしまうので電車で読むときには注意がいるかも。			
	全て	153P (60分)		2013/04/23 22:52:48
ひゃくたむ ☆☆☆☆	<p>今まで使えると思っていた英語が軒並み使えなくなって困惑。</p> <p>国際交流に自信がなくなったと同時に、知っておいて良かったと思う気持ちも同居。</p> <p>宣伝にまんまと乗せられるまま英会話学校に入学しそうだ。</p>			
	全部	159P (30分)		2013/04/23 21:27:03
recald ☆☆☆	<p>英語の微妙なニュアンスが分かって勉強なと思います。</p> <p>でも、</p> <p>実は僕、最近まで留学していたんですが、そこで出会った欧米人は、この本の中で死後として紹介されていた言葉をよく使っていました。日本人に合わせてくれていたんですかね…。</p>			
	全部	159P (60分)	第2話「マダム麗華の場合」	2013/04/23 16:38:35
iksk ☆☆☆	今までちゃんと習ってきた英会話がほとんど間違っていると言われていたような…。でも、なるほどーと思いながら読みました。			
	全部	159P (20分)		2013/04/22 16:14:18
あきう ☆☆☆	<p>セイン先生いいなあ！と思いますが、一生命英語はなしてる側になったら、意味が違うよ〜とラブに言われても自分だったらへこみそう。あとがきにもあったように日本人はもっと完璧を求めず楽しんで英語をたくさん話せばいいんだろうなあと思います。</p>			
	全部	159P (60分)	158-159	2013/04/17 16:39:05
	日本の英語教育は…			

rk ☆☆☆☆	自分自身、前置詞や冠詞の使い方が全く分かっていない気がするので、きちんと勉強しないといけないと感じました。 マンガとしては、爆笑って感じでもなかった。		
	1巻全部	100P (30分)	2013/04/16 18:56:42

まほら ☆☆	中学の初めに習うような簡単な英語でも、もう死語だったり違うニュアンスに聞こえたりで驚いた。さっさと指導内容を更新した方がいいのでは？		
	1-60	60P (20分)	2013/04/15 17:40:08

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

アイデアのちから

著者名	チップ・ハース&ダン・ハース	発行年	2008年
出版社名	日経BP社	ページ数	342ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4822246884
コメント	なんて、やる気の感じられないタイトル。よっぽど内容に自信があるのかしらん。 単純明快、意外性、具体的、信頼性、感情に訴える、物語性、ぜんぶで六つですよ、みなさん、覚えましたか？ Simple Unexpected Concrete Credible Emotional Story——頭文字をつなげると、ほうら。 いや、覚えるほどのこともないあたりまえの要素。でも、これでもかと挙げられる事例のおもしろさに、つつい読みふけてしまいます。 153ページ「茶色い目、青い目」の実践例が心にしみました。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ねりものや ☆☆☆☆	確かに言われれば納得、しかし日ごろからこれを意識しようとする大変…もうどんな要素があったか忘れちゃったし… ただ、ものすごくためになった本だったので、ちゃんと自分で買って、何度も読み返したいと思います。			
	全部	357P (180分)		2013/07/31 23:09:18
フラン ☆☆☆☆	抽象論と個別事例を行ったり来たり。すべてを実行すれば相手の記憶に残ろうかといえば意外とそうでもないかもしれない。でも一応指針として。 統計で武装しても相手に伝わって記憶に残らない限りそのキャンペーンは失敗となってしまう。そんなところが記憶に残りました。(理論的に説明すれば「納得してくれるだろ」と思ってましたが、覚えてくれない。なるほどでした) 個人的にフレーズが記憶に残るスピーチと、話者の技量に相関がないという実験(P.327-) が気に入りました。スピーチの点数がもらえないのも悲しいですが、せっかくのスピーチの内容を覚えてもらえないのはもっと寂しいです			
	8-61 90-108 159-138 322-349	122P (60分)		2013/07/31 20:08:00
なすび ☆☆☆☆	授業でやっていたのと、友人から進められていたので読んでみた。 具体例も含めて解説してくれてとてもわかりやすかった！これを実際に活かせるようにするには場馴れが必要かも？			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

	全部	357P (200分)	序章	2013/07/27 14:50:21
zin ☆☆☆☆	なるほど確かにという感じ。 よくよく考えてみると当たり前なのだが、実践するのが至極難しいと感じる。 意識するだけでも改善されると信じて精進します。			
	全部	357P (120分)		2013/07/24 11:59:27
AM5:42 ☆☆☆☆	授業でもやったことなのでとても説得力があった。 アイデアは発想力だけでなく、説得力や信頼性など、様々な観点がなければならないということ を実感した。 この6原則は、アイデアのみならず今後商売や人付き合いをして行く上でも重要な力だと感じ た。			
	全部	342P (300分)	23-28	2013/07/16 15:29:18
pinpon ☆☆☆☆☆	本に書いてあることはなるほどと思いました。普段の自分の発表は信頼性以外は出来てない気がする。 る。			
	半分 (飛ばし読みしな から)	160P (120分)	341-349	2013/07/03 19:28:04
コアラ ☆☆☆☆	ザボンの例や、茶色い目と青い目の例など、授業で実例としてあげられてたストーリーがあり、なるほどなと思って読み進めた。6つの原則をゼミや就活などで実践できるようになりたいと思っ た。 本を読むだけではアイデアの力は人からの転用にすぎないけれど、実践することで自分の力にな ると思う。本当の力をつけるのはこれからだ。			
	全部	357P (150分)	341-349	2013/06/11 12:28:26
quench ☆☆☆☆	アイデアをブラッシュアップしていく手順について書かれている。ふと思いついたり、気付いたり した小さなアイデアの種を、影響を与えられるようなモノに作り上げていくというのが話の中 心。 早速ゼミなんかで使ってみたくまりました。			
	全部	357P (130分)		2013/04/30 14:37:52
まるちぶる ☆☆☆☆	アイデア・クリニックだけでも手法は理解できると思います。ただし、その手法を使う場面がすぐ にでも来なければ、三日ですっかり忘れてしまうでしょう。 そうならないために、本書には本文を(流し読みでも)読破した人にボーナスを与えています。そ れが『アイデアを記憶に焼きつけるための手引き』です。ページをぱらぱらめくり続けて、『手引 き』をコピーしてたまに見返せば、手法は脳に格納されます。あとはどこかで使ってみるだけ。簡単 でしょ？ ということで、早速ゼミで使ってみーよお。			
	全て	357P (100分)	各章のアイデア・クリ ニック	2013/04/22 12:05:44

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

プレゼンテーションZen/デザイン

著者名	ガー・レイノルズ	発行年	2009年
出版社名	ピアソン・エデュケーション	ページ数	242ページ
値段	2,415円	ISBN	978-4894713284
コメント	これは効く！ ごちゃごちゃの文字と図、センスの悪いカラーリング、そんなありがち「スライデュメント」にさようなら。レイノルズ先生のワザを盗んで、プレゼン達人になろう。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
万年筆 ☆☆☆☆	プレゼンのデザインの本だけあって、本の中の構成もとても洗練されたものになっていて、説得力がありました。			
	プレゼンのデザインはいつもは、文字を入れ過ぎないくらいしか意識していませんでした。ただ、この本では自分がちょっと気にはなっていたけど、まあいっかみみたいな感じで切り捨てていた些細なことの修正の仕方なども具体的に書かれていて、即戦力で役たつ本だなと感じました。			
というわけで、非常に役立ちそうなので自分でも買ってみようと思います (笑)				
全部		242P (60分)		2013/07/31 23:36:49
river.i ☆☆☆☆	パワポでスライドをつくらうと頑張れば頑張るほどごちゃごちゃになっていく。そうではなくていかに単純にするかそして伝えたいポイントをしっかりと伝える。こういうことが重要なんですね。			
	教授たちがこれを読んでくれれば授業が楽しくなるのにな…。			
全て		100P (60分)		2013/07/31 14:45:49
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	パワポ院生になってから使い始めた、難しい。どうしても文字が多くなりがちなので、読んで参考になった。ただ論文を発表するときに、文字を少なく視覚的に説明するのは難しい。。。			
	全部		242P (90分)	
	読んでいるときは簡単そうだったが、実践するのが難しかった。ただ、いざ身につくと圧倒的にき			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

ゆう ☆☆☆☆	れいになっている			
	すべて	242P (100分)		2013/07/31 00:39:29
neueziel ☆☆☆☆	これを見たら普段の自分のパワポがいかに未熟であるかがわかった。これからはもっと工夫をしようと思う。			
	全部	242P (80分)		2013/07/30 14:59:25
おいしい ☆☆☆☆	これからプレゼンする機会（特に就職活動とかゼミ）が増えてくると思うので、読んでおいて本当に良かった！と思える本でした。			
	全部	242P (50分)		2013/07/30 01:19:51
candy ☆☆☆	絵があり、見出しもあり、わかりやすい!! ちょっとの工夫でプレゼンはこうもかわるのかという感じ。 すぐに実践してみたいと思う。			
	p. 1 -242	242P (120分)		2013/07/16 09:29:21
だんぼーる ☆☆☆☆☆	プレゼンをわかりやすく、印象的にする方法が体系的に解説されていてとてもためになります。 うちの専攻の教授陣の方々にも是非読んでいただきたい一冊です。			
	全部	242P (60分)		2013/07/15 18:08:42
PON ☆☆☆☆	よくスライドが分かりにくいといわれるので、大変参考になった。 情報をとにかく詰め込む癖を直したい。			
	1-202	202P (180分)	182-199	2013/07/09 10:42:29
Harley Davidson ☆☆☆	プレゼンの資料を作るのに、デザインのセンスが必要だというのがよく分かります。 具体例がたくさんあって、参考になりました。			
	全部	242P (40分)		2013/07/03 23:01:53
massa ☆☆☆☆	プレゼンをする機会が増えてきたので、読んでみました！私たちにいかせる情報がたくさん載っているの、ぜひ読んでみてください！			
	全部	241P (120分)		2013/07/02 13:15:24
ちょんまげ ☆☆☆☆	プレゼンの本質を学んだ気がした。これで修論発表は安心だ。			
	全部	242P (30分)	全体的に	2013/07/02 13:13:50
なすび ☆☆☆☆☆	プレゼンの方法論だけでなく、本質も書いてあるような気がした。欲しくなってしまった。。。買うか。。。。			
	全部	241P (120分)		2013/07/02 12:58:13
pinpon ☆☆☆☆	文字のフォントが大事であることは知らなかったです。次の発表で使いたいと思います。			
	全部	271P (60分)	第二章	2013/07/02 11:17:52

0120086144 ☆☆☆☆	WIPで大炎上したのと内容的には同一の発表を指導教官の前で行うのでこれを参考に頑張ります			
	全部	242P (120分)	後半	2013/06/27 16:41:57
じゃけん ☆☆☆☆	どこまで割れるかがその人のプレゼンの力量になることがわかりました。目指すべきはシンプルな形で、レジュメはあくまで発表をする人の補助であることも、多くの人が忘れてるように思います。様々なことに気づかされました。			
	全て	242P (200分)		2013/06/24 16:42:28
いわし ☆☆☆☆	パワーポイントのビフォーアフターは確かにすごい見やすくなっていた。デザインは引き算だ、というのが印象に残った。			
	134-145	11P (15分)	138-139	2013/05/15 14:02:41
Eve ☆☆☆☆	今までプレゼンテーションをどうやったら格好よく出来るか分からなくて、準備に時間がかかってきましたが、これからはこれを参考にしようと思います！ やっぱり印象に残るのは文字よりもインパクトのある写真ですね！ちょっとした工夫一つでこんなにも変わるんだ！って思いました。			
	全て	242P (180分)		2013/05/14 23:37:25
くい ☆☆☆☆	パワポを作るときの参考書として研究室に一冊ほしい本です。 パワポを改善する前と改善した後の具体的な例がたくさんあり分かりやすい。			
	全部をばらばらと	273P (100分)		2013/05/07 13:03:08
25 ☆☆	基本的にビジネスプレゼンテーションの視点で書かれていることには留意すべき。この中にある長々とした説明を読むよりは、実際にもっとプレゼンテーションを見たり聞いたりしたほうが良いようにも思いました。			
	すべて	242P (100分)	p88-92	2013/05/06 18:08:52
あきう ☆☆☆☆	一生懸命読んでもおそらく忘れるので見やすいスライドが毎回作れるまで研究室に1冊あってもいいかなと思いました。 よく見やすいグラフを求められるので、どのデータにどのグラフを使うかというところはすぐ実践してみたいです。			
	全体をばらばら	80P (30分)	156-165	2013/04/26 12:00:57
14 ☆☆☆☆	パワーポイントを用いてプレゼンテーションを用いる者にありがちな様々な見にくいスライドが、本書を読むと細かい点で分かり易いスライドに早変わり。 ただ読書の対象としては翻訳本ということもあり、日本語が不自然で読みにくい。また、写真や動画の項などかなりのセンスが無いと参考にすることが出来ない部分も多い。この本はパワポの改善書というよりはデザインの参考書としてつまみ食い程度に読むのが一番である。			
	すべて	271P (120分)		2013/04/23 12:27:16
はまじ	「我々の最大の過ちは、スピーチについて考えたり、コンテンツの準備をしたりする間、ほとんどずっとコンピュータースクリーンの前に座りっぱなしだということだ」 私が最も参考になった文章です。 研究室で月一回プレゼンする機会があります。私はいつもパソコンの前でひたすらアニメーションにこだわってスライドを作成していました。一日がかりでたった10分のスライドを作成します。し			

☆☆☆☆	かし、本番になってみると、練習不足のせいでいつも緊張してしまいうまくいきません。そこで、この本を手にし、まずアナログで考えてみました。紙とペンで最初にとりかかるのです。その結果、ポイントに絞り、短時間で完成させることが出来ました。私と同じ過ちをしている人は、是非この本を手にとってみてください。		
	15-179	150P (120分)	55-63
2013/04/23 11:55:40			

フラン ☆☆☆☆	あれもこれもと詰め込まれているので、スライドをパッと見て「好きだな」と思ったページだけを切り取ると良いと思います。それ以外のあまりはどっかに仕舞いこんでも良いと思います。あまり多くにチャレンジしようとしないうほうが良いかと。		
	プレゼンの仕方の特効薬にはならないかもしれないが、薬の前駆体としての効能には期待できるかと思えます。		
プレゼンに載せる言葉選びとしては「広告コピーってこう書くんだ読本」みたいなものも面白いかと思えます(あまりこういう本を読んだということではありませんが……)。			
全ページ	242P (60分)	25	2013/04/17 23:16:45

zin ☆☆☆☆☆	すごく勉強になった。ゼミのプレゼンで早速実践してみたいと思う。		
	1-326	326P (180分)	
2013/04/15 19:33:45			

はやぶさ ☆☆☆	スライドを作るにあたっての注意点がよくまとめられていると思う。しかし、筆者がスライドにはトピックだけを載せて簡潔に！と強調する割には、本に書かれている説明が長い。スライドのデザインは参考になるし、読んでいて飽きないと思う。		
	自室	200P (60分)	
2013/04/15 11:31:36			

rk ☆☆☆☆	強調したい点をどうすれば伝えられるか。一枚のスライドに持たせる意味を考えるためのポイントがまとめられていて面白かったです。具体例が並べられていて、とてもわかりやすい。ただ、読んですぐ実践できる自信はないです。		
	1-150	150P (45分)	109-123
2013/04/09 17:10:02			

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

コミュニケーションデザイン

著者名	岸 勇希	発行年	2008年
出版社名	電通	ページ数	186ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4885531989
コメント	コミュニケーションをデザインするための本 あんなヒット例、こんなサクセス例。うきうきと並べてゆくことで、この本自体が電通という企業のリッチなコマースラルになってしまっているのだから、したたかと言うか。 でも披露される、たくさんのテクニックは、ふむふむなるほどと興味を引くものばかり。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆☆☆	如何にして売るかよりは如何にして見せる(魅せる)かという冊子。 立ち読みポイントで上げた部分(高級時計のブランドのイメージアップ)は、さすがに無茶だと思いましたが意外と上手くまとめててすごいなと素直に思います。 そのままこの本を読むよりは、自分だったらこうするなとクライアントの要件を見た時に考えてから読むといいかもしれません。ただ鵜呑みにして言うだけでは力になりませんから。 その広告を打つという動機づけもしっかり説明されているので好評価。			
	14-80 102-117 162-191	113P (60分)	61-80	2013/07/29 21:14:26
PON ☆☆☆☆	広告の実例の部分をつか読んだだけだが、 こんな面白い広告があるのかと驚いた。 しかも、広告の意図をきちんと解説しているので、勉強になった。			
	35-146	112P (120分)		2013/07/16 11:05:32
しろ ☆☆☆☆	広告業界についてなんて考えたことなかったけど、読むにつれて人に感心を持ってもらうための工夫や広告に用いるツールの選択など他のことにも使えそうな内容があつてよかった。 どんないい商品であっても知られなかったら利用されることもないので宣伝の重要性を再確認させられた。			
	全部	186P (120分)		2013/06/28 18:39:54
joker00	情報過多の時代。紹介されている事例からもコミュニケーション・ニーズの変化の速さがわかる。 (わずか5年なのに古いという印象を抱いた！) 良い商品をつくるということと、商品を人に売り込むということの違い。自己満足ではなく、コ			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

☆☆☆	コミュニケーションをデザインすること、その言葉の意味が少しわかった気がします。	全部	186P (30分)		2013/06/17 18:33:47
ねりものや ☆☆☆	これからの広告のあり方を学んでいくうえで、あらゆる例とともに仕組みが分かるので、初めて広告業界というものを勉強する人にとっては良い教材だと思う。 バイラルやバズといったCtoCコミュニケーションをはじめとして、複雑化して先の見えない現代人の行動というものをどのように操るか。正直ここに書かれている例はもはや古い考えになっていると思うので、この本をとっかかりに今の広告を分析的に見てみると、世の中が違った見え方をして面白いかも。	全部	186P (120分)		2013/06/04 14:56:57
25 ☆☆☆	広告業界のおもしろさがよくわかります。事例はちょっと古くなってしまった感じがするかもしれませんが。mixiとかモバゲーとか・・・	すべて	186P (100分)	p81-100	2013/05/21 17:22:10
14 ☆☆☆☆	各事例で広告業界に身を置く筆者のプランニングの工夫を詳しく載せた一冊。 最後の一般論の項がどうしても頭に入りにくい印象を覚えたので、"伝えること"に対するセンスがある人向けの本でしょうか。 どの業界に属する人も商品企画力は必要だと思うので、避けてはいけない本だとは思いますが。	すべて	200P (120分)		2013/05/14 17:25:26
はな ☆☆☆☆	来春から自分が働かせてもらう業界の話。個人的には「やっぱりこの仕事、面白そうだな」と思ったのが収穫。 広告というものに知識や興味が全くない人も楽しめるように書かれているのではないのでしょうか。広告に関してではなく「いかに人の興味をひくか」「いかに人を共感させるか」という観点から読んでも面白い。本授業におけるプレゼン等でも役立つのではないのでしょうか。 ターゲットを定める上で収集した情報等の掲載があると、もう少し納得感も増すのではないかと思います。	全部	186P (180分)	119-134	2013/05/12 21:10:28
くい ☆☆☆☆	この本を読んで気付いたこと。それはどんなに研究者や企画者や開発者が頑張っても新商品を世に売り出しても、宣伝が上手くいかなければ全く売れないかもしれないということだ。宣伝の力を思い知った。 将来研究者の方面に行く自分としては、自分の研究や開発成果が直接商品の売り上げに直結しないことは残念なことである。宣伝する人には頑張ってほしい。	1-118	118P (90分)		2013/04/29 23:52:37
vecky ☆☆☆☆	自分の視野の拡大につながります。 デザインというか、世間一般的な宣伝などに注目しているような人（普段この広告がっさいな、とか思ってる人）にとっては正にバイブル（いいすぎかな）なのではないでしょうか。 新しいクリエイティブな発想が生まれる瞬間に立ち会えました。 アカデミックな要素が0なので、だれでも気軽に読めるのではないのでしょうか。	全部	186P (180分)	サーモグラフィー	2013/04/23 11:15:58

ちゃんまげ
☆☆☆☆

コミュニケーションデザインが何なのかはちょっと覚えていないが、ケーススタディが面白かった記憶がある。男性用トイレの的が作られた経緯といった意外な発見もあった気がする。

何となく何かに何かをちょい足ししたり、違う視点から見たり、見てみなかったりすることでちょっと生活が便利になったりハッピーになったりするケースが多かった気がする。曖昧ですみません。

全部

186P (120分)

ケーススタディの好き
なところ

2013/04/11 15:49:00

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

日本の国境問題 ～尖閣・竹島・北方領土

著者名	孫崎 享	発行年	2011年
出版社名	ちくま新書	ページ数	231ページ
値段	760円	ISBN	978-4480066091
コメント	ホットな話題だからって手っ取り早い回答を求めて本書をめくると、たぶん肩透かし。お前の物はオレの物的なジャイアン跋扈する国際政治の怒濤のなかで、さてどんな舵取りをすれば安全なのか。その時その時の各国の思惑を再現することで、思案する土台を提供してくれます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
じゃけん ☆☆☆☆	他の国の思惑を探りながら、現代のホットな話題を議論しており、とてもわかりやすく状況を解説していました。池上先生の授業でも同様のことを扱っていたので、授業とあいまってよく熟考できたと思います。			
	全て	231P (300分)		2013/07/31 23:24:26
0冊からの追上げ ☆☆☆☆	自分含め日本人は歴史に無頓着すぎると感じた。北方領土に関してソ連が理不尽に奪ったと思っていたが、日本は北方領土を放棄することを過去に認めていた。しかし、アメリカは日本とソ連が親密にならないように領土問題を煽った。こんなことは全く知らなかった。 領土問題に関しては自国・相手国両方の主張を政治家だけでなく国民も理解する必要がある。お隣の国は自国の主張のみを完全に信じきっているが、日本人は自国の主張の根拠を知っている人もあまりいないのではないかと感じた。両国民が互いの根拠を客観的に見ることができれば折り合いをつけることも可能なのではないかと感じた。			
	全部	231P (100分)		2013/07/31 21:52:07
river.i ☆☆☆	去年、池上さんの授業で同じ内容をやっていたのでとつきやすかったです。 色々面倒な国境問題ですが一度、第三者の目線から事実を知っておくのも重要だと思いました。			
	1-50	50P (30分)		2013/07/31 14:49:01
	黙ってればいいのに……。 と思っていたら実際にそういう内容で本が書かれていました。 民主党が「脱官僚＝官僚に頼らない」みたいなスタンスだったのでめんどくさいことを引き起こし			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>フラン ☆☆☆</p>	<p>たような印象。直接は書かれてないけれども。 棚上げが嫌いってのははっきりしないと落ち着かないのか？日本人的っていう印象の真反対だが……。これについて色々と考えてみたい気もする。</p>		
	57-94 141-196	94P (40分)	2013/07/20 17:10:25
<p>neueziel ☆☆☆</p>	<p>自分は割りと国境問題に詳しいと持っていたがそんなことはなかったことに気付かされた。琉球がいつから日本になったかなど日本から見ても聞きたくない不快なことも書いてある所がよかった。</p>		
	全部	231P (120分)	2013/07/16 10:46:48
<p>マルメロ ☆☆☆☆</p>	<p>冒頭の「尖閣諸島はいつから日本の領土になっていますか。」等の問いを見て、自分も領土問題についてほとんど何も知らなかったのだなと恥ずかしくなった。 つつい感情が表に出てしまいそうになり読み進めるのは難しかったが苦勞する価値はある本だと思う。</p>		
	全部	231P (120分)	2013/07/08 00:45:32
<p>おさむ ☆☆☆</p>	<p>ナショナリズム的感情からか、昨今話題になっている領土の所有権は当然自国に帰属するものであると考えていた。しかし、ここに書いてあることが事実であるとするならば、そのような考えも怪しくなってくる。この書籍に留まることなく、異なった視点からこの問題を扱った書籍に当たってみようと思う。</p>		
	1-130	130P (120分)	2013/06/04 16:40:06
<p>フェリー ☆☆☆</p>	<p>国交問題について歴史的背景など詳しく書かれていて、マスコミで報道されている国境問題は表面的な事に過ぎず、それに満足していた自分を恥ずかしく思った。</p>		
	1-100ページ	100P (120分)	2013/06/04 01:30:43
<p>book9648 ☆☆☆</p>	<p>国境問題が複雑であるということが分かった。 当事国だけでなく、第三者も重要。 やはり、周辺国とけんかしないで仲良くなりた。</p>		
	1-231	231P (180分)	201-208 2013/05/14 12:46:21
<p>Harley Davidson ☆☆☆</p>	<p>東工大の韓国・中国からの留学生には、領土問題についてしっかりと自国の意見を主張できる学生がいる。一方で、日本人は領土問題に対する知識が十分でない人が多いと思う。自分の国についてもっと関心を持つことや、自分の国を愛する気持ちでは、彼らに負けているのではないかと感じる。だから、この本に興味を持った。 日本国民として知っておくべき事実が書かれている。 でも、もっとコンパクトに本の内容をまとめてほしかった。</p>		
	全部	231P (210分)	2013/05/11 23:56:00
<p>ひゃくたむ ☆☆☆☆</p>	<p>知らない事実が多かった。 著者は脱米路線の平和路線。外交であるから起こった事象だけで構成するのは難しく、著者の推測も見受けられる。他の人の意見も聞きたくなる。 この本を読んだ印象としては、国際司法裁判所に係争地を持っていき、そして敗訴して国民感情を抑えるのが得策である、という意見なような気がした。</p>		
	全部	231P (150分)	2013/04/23 21:33:44
	<p>すごく勉強になる本です。各国が抱えている領土問題の歴史背景や実際の解決方法、日本が置かれている立場、国際的な解決方法など、知っておいた方がいいことがたくさん書いてあると思いま</p>		

rk ☆☆☆	す。ただ、非常にカッチリとした文章なので、普段あまり本を読んでいない者としては、結構苦労しました。		
	全部	231P (240分)	6章

BBB ☆☆	正直読むのがかなり苦痛でした。しかし、竹島などの領土問題が騒がれている今、知っておくべき事実が記されていたのできちんと読むべきなんだろうなと思いました。		
	全体をバラバラ	200P (60分)	

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

決断できない日本

著者名	ケビンメア	発行年	2011年
出版社名	文春新書	ページ数	232ページ
値段	819円	ISBN	978-4166608218
コメント	まだ記憶に新しい普天間の大迷走からトモダチ作戦まで。現場に立って戦い続けたアメリカの外交官のずばずばトークが痛いけれどこちよい。 鋭いだけでなく、ちゃんとユーモアが入っているところが、さすがタフ・ネゴシエーター（←日本外務省筋命名の彼のあだ名）。とくに188ページ「愛をささやく仕事」に爆笑。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
じゃけん ☆☆☆☆☆	ここまで書かれれと、爽快であり痛快です。日本外交の認識の甘さを外の視点から、ズバズバと書いてくれているので学ぶことが多いとおもいます。ただ時々イラッとくる言葉もあるので、嫌いな人は嫌いかもしれません。			
	全て	232P (180分)		2013/07/31 23:30:20
daasuuu ☆☆☆☆☆	原発や沖縄の問題を絡めながら、日本的な考え方について学ばせてもらいました。日本が抱えている政治外交問題についても学べるのでオススメです。			
	1-120	120P (90分)		2013/07/26 17:02:44
zin ☆☆☆☆☆	痛快、爽快？ いやダメなのはわかってるんだけど、よくここまで率直に書いてくれた！という感じ。 日本も変わらいたいといけないと実感できた。			
	全部	232P (60分)		2013/07/24 13:07:32
フラン ☆☆☆☆☆	この次にある、「がんばっぺし」と同じように「政治の決断が遅い」と言ってるのに、こちらのほうが腑に落ちた。内容を詳細に話しているからか、感情的な部分も客観的に捉えているからか？ あとは「アメリカは日本に関してこうです」という話か。重要なのが今・過去ではなく未来である点において、あまりにもこの内容では不安である。(逆に翻すことも可能であると言ってしまっているような印象も受ける。) あとは日本は外交ベタと言うか、特殊性があるというか…。			
	19-82 109-146 221-232	114P (60分)	一章19-52	2013/07/21 23:34:20

pinpon ☆☆☆	アメリカから見た沖縄、あんまりおもしろくなかった			
	1-100	100P (30分)		2013/07/16 20:30:56
Harley Davidson ☆☆☆	原発の事故については、納得できるところがあったし、当時の対応には問題があったと思いました。 じっくり読めば、ためになる本だと思います。			
	1章	52P (30分)		2013/06/15 00:09:26
まるちぶる ☆☆☆☆	Facebookなんかでもよく「賛同できたらシェア」的なことが書いてある投稿がぶんぶん回ってくるのだけれど、ああいうのって「それは真実か」って問い立てがあれば怪しくて回せないですよ。スパムとも馬の骨とも知れぬ情報をどうして回すのかなーと考えると、一部はただ単純に何も考えないスカポンタンなのかもしれません。おそらくそれって情報に対する無責任さ（権威への依存）というのが主因だと思うんです。			
	新聞を読みましようねなんて就活でもよく聞くけれど、べつに新聞なんて読まなくてもよくて、まず与えられた情報を疑ってかかる、真偽を調べる、そして判断までをすべて速やかに行うことが重要なわけです。鵜呑みにしていたって何も始まりません。 決断できない日本というタイトルには、政府首脳に対してだけでなく、日本国民一人一人に対する皮肉が込められていると考えていいでしょう。情報リテラシーをいい加減覚えないと、またメディアの思う方向に進まされて、メアさんみたいな味方を失う羽目になります（果たしてメアは日本の味方だったのか、そこもちゃんと考慮しなきゃいけません）。			
	全て	232P (45分)	pp.147-186	2013/05/16 16:22:42
フェリー ☆☆☆	アメリカ政府の人から見た日本政府って問題ばかりあるんだなぁと思いました。 時間があれば全部読みたかったです。			
	1~61ページ	61P (60分)		2013/05/06 21:28:44
みね ☆☆☆	The point of view from pre USA bureaucracy that show the real think of USA. The book name , the Japan that can't decide, reflect on partner that USA ,their Heartfelt wishes.			
	9-17、109-146	45P (40分)		2013/04/16 21:31:39
rk ☆☆☆☆☆	外交・軍事・復興に対する日本人の考えの甘さなどを、アメリカ人外交官の視点から論じていて非常に面白かったです。 特に立ち読みポイントにした章は、日本人の“決断”に対する痛烈な意見が書かれており、視点としてとても興味深かったです。 読み始めたらサクサク読めました。 が、考え方が合わない人はイラッと来そうな気がします。			
	9-28ページ、187-232ページ	66P (80分)	187-219	2013/04/10 18:50:09

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

がんばっぺし!ぺしぺしぺし!

著者名	戸羽 太	発行年	2013年
出版社名	大和出版	ページ数	209ページ
値段	1,400円	ISBN	978-4804762074
コメント	ぺしぺしぺし。熱い思いが行間から噴出します。 陸前高田市長の732日。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆	狙ったわけではありませんが、これ以上読めなくなったら100ページになりました。 732日とあったから物語的なものを想定していましたが、意外と標語+コメント+まとめを2ページで繰り返しているのでババッとページを繰れる。 私は非常に薄情なので「で？」という感じが否めない。私から見てしまうと(読んだ箇所に問題があるのかもしれませんが)、ただ愚痴を羅列しているかのよう。頑張ると言うよりは一人相撲? 一方で、手伝いよりも友だちがいるほうがいいという点がプラスの印象として残った、決して分量内容的に広がっているわけではないですが、それを得られた点では読んでよかったと思う。			
	21-60 121-172 +はじめに	100P (40分)	はじめに	2013/07/20 12:38:54
iksk ☆☆☆☆☆	感動しました。 自らも被災者であり、また被災者をまとめ引っ張っていきべき存在の市長自身が語った重みのある言葉の数々。陸高が抱える問題について考え、それについて一つ一つに決断なり意見を公言しなければならぬ重圧はかなり大きいものであると思う。きっと復興は、もっともっと親身にかつ繊細に扱っていかねばならないのだと思った。			
	全部	209P (60分)		2013/07/17 15:55:23
AM5:42 ☆☆☆	一本松を残すということは個人的にも賛成。 ただ、「どうやって残すのか?」が疑問。 伝建地区のように「保存」と形式化してよいのか? それが逆に「震災の記憶の軽薄化」につながっていくのではないのか? とうんぬん考えてしまった。			
	121-176	56P (30分)	153	2013/07/16 17:38:15

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

なすび ☆☆☆☆☆	被災関係したときの物語本かと思いきや、被災という逆境を乗り切った経験から得た学びを伝えてくれた本。			
	全部	209P (60分)		2013/07/09 10:32:52
book9648 ☆☆☆	市長の立場での苦労がわかった。あまり報道されない裏の姿が興味深かった。いつも前向きに頑張ることが大切だと思った。			
	全部	209P (180分)	176-179	2013/06/25 12:38:49
candy ☆☆☆☆	陸前高田市市長の熱い思いがダイレクトに感じられる一冊。読んでいるこちらも胸が熱くなりました。市長さんをはじめ、被災地でがんばっている方々が紹介され、テレビでは知ることのできない、市長目線での被災地の姿を知ることができます。渡辺美樹さんの『夢に日付を!』など、希望が持てるワード満載で、私もがんばっぺし!と思えた一冊でした。			
	1-209	209P (100分)	全部	2013/05/14 08:26:47
ひやくたむ ☆☆☆☆	被災地の現状を一言でまず綴り、その後中身を読ませる構成になっている。その一言の文だけでも気持ちが伝わってくる。			
	一言の文のみ	50P (10分)		2013/04/23 21:13:40
おいしい ☆☆☆☆	私を戒める言葉のオンパレードでした。特に、「できない理由を並べるのは簡単、実現のための努力が必要」という言葉は、新しいことにチャレンジするとき、躊躇い逃げ道を探しがちな私には耳が痛いものでした。今後、まちづくりの研究を通して被災地に少しでも貢献できればと思います。頑張れ戸羽市長!			
	全部	209P (100分)	21-36,181-195	2013/04/22 14:05:23
はやぶさ ☆☆☆	タイトルの歯切れの良さがこの本に目を引き寄せるが、中身も歯切れがよい。4ページくらいで一話が完結し、冒頭ページには一言大きな字で引用文が載せてあり、インパクトがあり・話の方向性がわかりやすい。気さくな文章なので、すらすら読める。			
	自室	150P (60分)		2013/04/15 11:34:41
rk ☆☆☆☆	被災地の首長としての気持ち、1被災者としての感情などがストレートに書いてあり、文章も簡潔なので読みやすかったです。日本人として、知っておかなければならないことがたくさんありそうだな…と感じました。個人的には、メディアに対する批判が印象的で、もともとメディアは信用できないと思っていましたが、その思いが強くなりました。			
	はじめに-31、120-131、152-最後	98P (60分)	162-173ページ	2013/04/10 19:32:58

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶

著者名	石川 梵	発行年	2011年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	0ページ
値段	2,415円	ISBN	978-4864100960
コメント	ひとりの眼を通しての記録、という芯の据わり方が貴重。 写真も映像も、あの日から私たちは、もう感覚が麻痺するくらいにたくさん消費してきた。けれども、ここにあるものは、たったひとりの写真家が、おのれの力だけを支えにこの巨大な現実と向き合おうとした真剣な記録。空撮と接写を織り交ぜた構成は、まるで彼自身が対象との距離をどう取ったらよいか、自問自答をしているかのような。どうか写真の前を通り過ぎるだけでなく、巻末にて、それぞれの写真に添えられたことばも受けとってください。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	これが現実だとは思えなかった。映画の中のワンシーンを見ているような。地震後のニュースを見てもあまり実感がわかない。一番は実際に訪れることだと思う。			
	全部	120P (20分)		2013/07/31 16:15:57
いわし ☆☆☆☆	被災地の生々しい被害の様子が多くの写真に収められていて、自然の脅威を感じた。それとともに、震災とは必ずしも直接関係しない個人がどういうふうな復興に関わっていくのがいいんだろうかと思った。			
	全部	120P (25分)		2013/07/31 11:22:00
ruke ☆☆☆☆	震災から2年たって初めて石巻を訪問したとき、まだまだ復興は進んでいないなという印象を受けたが写真のような光景まではいかない。この本を読んで少しづつ復興を実感した。現地を知っているからこそ、写真の壊滅状況の悲惨さがより一層伝わった。石巻だけでなく、他の地域の今の状況も見てみたいと思った。			
	全部	120P (20分)		2013/07/31 08:13:52
おいしい ☆☆☆☆☆	東北出身で震災当時も地元にはいました。それまでは震災など人ごとでしたが、実際に自分の身に降りかかり初めて、防災の意識を持つことの大切さを痛感しました。当時は何よりも、余震が怖かったです。			
	全部	120P (20分)	全部	2013/07/30 22:13:44
	大震災のとき自分は遠くにいたから全く揺れを感じなかった。そんな中でTVで連日流れていた報道			

しろ ☆☆☆☆	を人事のように思っていた自分がいた。でも、いま写真集を通して思い出してみたらなにかやれることがあったのではないかと改めて考えさせられた。		
	全部	120P (30分)	2013/07/22 16:56:28
みね ☆☆☆☆☆	もう一度！立ち上がり！		
	1-120	120P (25分)	2013/07/02 22:21:28
AM5:42 ☆☆☆☆	記憶は薄くなっていくもの。でもそれをいつまでも消えないようにするための本。自然の力がどれほどすごいものなのか。人間の力がどれほどちっぽけなのか。でも、そこで逃げず、地域を愛する人達がまちの復興に立ち向かっている「今」にも目を向ける必要があると思う。		
	ぜんぶ	120P (30分)	2013/06/29 00:12:22
14 ☆☆☆☆☆	震災の写真はネットや報道にて流されてきた。お涙ちょうだいな動画等も溢れているが、この本ではありのままの震災の様子を撮っている。何も小細工の無い震災直後の画像であるだけに、心を揺さぶられた。まだ現在でもゴースタウンとなっている都市もあり、あの日から忘れ去られた記憶を呼び覚まされる良い機会となる本。		
	全て	120P (10分)	2013/06/07 16:48:43
quench ☆☆☆☆	当時の日本の様子を思い出した。今となってはほとんど考えることもなくなっていたが、改めて震災の恐ろしさを実感した。		
	全部	120P (30分)	2013/05/21 16:12:10
はな ☆☆☆☆☆	改めて震災の悲惨さを認識。 震災については誰もがテレビやネットで見ているのだろうが、この様に作品として残すことはとても大切だと思う。		
	全部	120P (30分)	2013/05/20 14:51:17
555 ☆☆☆☆☆	自分は震災から一年半後の夏に石巻へ行った。その頃には全てがまっさらな更地になっていた。この本に載る光景を更地に戻すとしたら、そりゃあ一年半はかかるだろう。しかし、着実に復興はしている。自然の驚異と同時に、人間の生命力を感じた。		
	全部	120P (30分)	2013/05/14 13:13:37

			ト	
--	--	--	---	--

book9648 ☆☆☆☆	どれも印象に残る写真ばかりでした。 災害の恐ろしさが伝わってきました。			
	1-120	120P (30分)	全部	2013/05/07 12:39:17

25 ☆☆☆	あのときの世の中の空気が思い起こされる。瓦礫の写真の、その少し前を考えると恐ろしくなる。 被災地に行ったことはないが、感じるものはあった。			
	すべて	120P (30分)	教室の写真	2013/04/21 22:53:33

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

あの日からの建築

著者名	伊東豊雄	発行年	2012年
出版社名	集英社新書	ページ数	189ページ
値段	700円	ISBN	978-4087206616
コメント	あの日とはもちろん3・11。 自身の建築歴を振り返りつつ、「みんなの家」をつくって被災地と関わり続ける日々を率直なトークでまとめて、読みやすさ◎。チューブに託した意味（144ページ）のような、建築家の発想の根底に触れるエピソードもちらほら。シカクくない建築のいろんな形、写真でばらばらお楽しみください。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
iksk ☆☆☆☆☆	私の大好きな建築家の一人です。 震災から一年後、東北大で行われた展示会にて伊東豊雄さんの「みんなの家」プロジェクトを見た。そこは仮設で暮らす人々が集まる集会所という役割にとどまらず、心の拠り所であり、また向上しようとする意欲を持つことができる場になる。被災地での建築を少しためらったと話していたが、伊東さんの作品は、ほとんどが社会に開かれている特性があると私は感じた。			
	全部	189P (40分)		2013/07/17 15:32:08
kabadie ☆☆	学生時代の筆者がいた環境はおそらく建築家としてとても恵まれた環境だったのではないかと思います。いろいろな人が色々な事をやり始めた段階で、いろんな刺激があったのではないかと。			
	15-45、109-155	76P (60分)	110-112	2013/07/16 16:54:28
だんぼーる ☆☆☆	現代建築には明らかにデザインを重視しすぎて、ユーザーのことを考えていないものが見られるというのは前々から気になっていたところ。 実際に使う人との対話など、次世代の建築に向けた思いや考えがわかりやすく語られていたのは◎。 ただ、若干のとりとめのなさは気になった。			
	全部	189P (30分)		2013/07/02 13:33:05
ruke ☆☆☆☆☆	伊藤豊雄の建築家としての葛藤が描かれていてこれからの建築の限界と可能性を垣間見えました。巨匠がこれだけ苦しんでいるのだから、今後若い建築家がこういった建築を設計していくのだろうと興味をもった。特にアトリエに進む道は常に外部の否定的な意見と戦いぬくことが必要だと感じた。			
	185ページ	185P (150分)	156-185	2013/05/28 16:55:56

まるちぶる ☆	建築家特有の独善性に溢れた、知性をあまり感じない文章でした。「建築家としてはどうしようもできない部分」の設定が、このひとの場合広すぎるんだと思います。その点、隈研吾の『小さい建築』は非常に秀逸だったのだなあ。			
	全て	189P (40分)	とくになし	2013/05/23 16:53:27

book9648 ☆☆☆	土木出身の私には同意できないところがいくつかありましたが、建築の立場からの視点が少しわかったのでよかったです。			
	3-189	187P (180分)	173-181	2013/05/07 12:44:50

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

小さな建築

著者名	隈 研吾	発行年	2013年
出版社名	岩波新書	ページ数	224ページ
値段	720円	ISBN	978-4004314103
コメント	積んだり織ったりふくらませたり。 各章が動詞でまとめられていて、隈さんと一緒に体を動かしながら、何かを創り上げていくような、うれしい参加感を誘います。 世界的建築家などという、ありきたりの賛辞をはるかに下方に置き去ってしまう、風の如きかるやかさ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆☆☆	作者個人のアイデアの塊としての本。しかし、各例は非常に面白い。自分の分野に即座に活かせるとは思えないが、大は小を兼ねないという言葉の事例として十分に役に立つかと思えます			
	1-66 111-174	130P (60分)		2013/08/01 10:28:41
潤 ☆☆☆☆	「積む」、「もたれかかる」、「織る」、「ふくらます」の考え方と実例は好奇心を刺激し、とても面白かったです。			
	全部	224P (224分)		2013/07/30 15:24:43
iksk ☆☆☆☆	世界的に著名な建築家である隈研吾さんの本。 独創的な作品を数多く建築する彼の建築に対する思い、そして建築をする上で考えることが綴られている。建築を学んでいなくても、きっと彼の思想に共感できる部分があるはず。			
	全部	224P (300分)		2013/07/17 15:19:14
ばみゅ ☆☆☆☆☆	小さな建築をヒントとして、独特な視点から建築歴史を解説した。第二次世界戦争の後、住宅建設に対する政策の欧州とアメリカの違いが両地域の経済発展に結構違い影響をもたらしたなどの論点は面白い。しかし、パソコンの小型化と類比して、建築も必ず小さくなる推論に完全に同意できない。さらに、ウォーターブランチによって作った建物の性能を疑っている。			
	全部	224P (600分)		2013/05/07 12:48:39
	文脈があるものを好む自分にとってはとても面白い内容だった。自らの専門領域を深め他者に説明するには、周りでそれを支えるその他の学問（教養）にも精通しておくことが必要なのだと思感さ			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

おさむ ☆☆☆☆	<p>せられた。しかし、筆者の建築に賭ける思いが強い過ぎる余りか、言説に「うん!？」と疑問も感じる場所もあった。少し強すぎる「自然への回帰欲」。今までの先達は人間が自然状態のままでは不都合な状況が生じたからこそ建築学という学問を必至で発展させてきたことには間違いはないのだから、(政治的な利用をこの本の中では触れられているけど…)それをゼロベースにしようとして読み取れる筆者の思想に迎合し過ぎるのも学問としてどうなのかなあと(p79環境に依存する弱さこそが生物の本質)。それでも、筆者の言わんとすることの大部分にはとても共感できる。人間は快適な生活を求め過ぎるが余り「不自由」になってきているように思える。自由を求めることで不自由になるこのパラドキシカルな構造をこの筆者なら変えてくれる。そんな気概を感じさせてくれる一冊でした。</p>		
	全部	204P (90分)	2013/04/20 14:19:41

joker00 ☆☆☆	<p>どこか疑問を感じていたけどどうまく言葉にできない..そういうものに対しての一つの答えを示している。建築を生き物としてとらえる彼の考え方に、自信と才能を感じます。</p>		
	全部	204P (150分)	2013/04/10 15:29:34

まるちぶる ☆☆☆☆	<p>ひとつのことに優れた存在は、基本的に、他の多くの事にも良く通じているんだと思います。いきなり中華料理が民主主義的だと言い出したり、マル経から住宅を考えたり。好奇心って大切です。</p> <p>そしてもう一つ大事なものは、当たり前を疑うことです。これはひょっとしたら天性かもしれない。というのも、「壁の位置を変えたいくなるなんていうことは、人間の気まぐれな生活の宿命で、しょっちゅう起こる」(p.29,14-5)なんて書いてあって、えーまじですかと思っちゃうんだけどそれは僕の発想が壁の変性を諦めている(=壁の安定性をばけらーと信じ込んでいる)からであって、彼からすれば普通の事なんですね。常識に違和感を持つことが多い分野があればそれが天職(大げさだけど)につながってるのかもしれない。</p>		
	全て	204P (90分)	pp.25-26 2013/04/09 23:02:28

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

東京は郊外から消えていく！

著者名	三浦 展	発行年	2012年
出版社名	光文社新書	ページ数	206ページ
値段	800円	ISBN	978-4334036980
コメント	言ってることは書名のまんま、とっても単純。 それを自前で集めたデータで、1%単位の緻密さで論証してみせたプロセスが読みどころで、社会調査に縁の深い社生にはタメになります。 だってシーツを週に何回選択するかが、重要なデータになるなんて思いもしないでしょ？		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
はやぶさ ☆☆☆	なかなかセンセーショナルな読み物ですが、終始東京に一極集中した結果でしょ？という感想しか持てなかった。			
	全部	206P (60分)		2013/07/11 10:39:14
book9648 ☆☆☆	空き家、空き地の活用方法が少しわかった。 首都圏の郊外でこれほど問題が大きいとは知らなかったのでびっくりした。 データの表が少し見づらいつつ思った。図は見やすかった。			
	全部	206P (180分)	197-206	2013/05/28 12:32:50
0120086144 ☆	ぶっちゃけ「パラダイムシフト」の一語で片付きそうなことをあれこれデータ載せていくと一冊の本になるという実例。コンサルが出てきたあたりから読み飛ばしを始めた。あなたの街がゴーストタウンになる！！という読者警告で第一章が始まるので「お、読者注意喚起系新書かな？」と思ったけど目線、関心は真反対のおそらくコンサル側のもので問題意識がよくわからない。			
	14-206	193P (60分)	後半	2013/05/14 12:22:44
555 ☆☆☆☆	様々なデータが載っていて、多角的な視点が得られた。郊外をどうしていくかという自分が興味ある話題だったので、考えさせられた。東京について学びたかったので、自分的にはとても良かった。			
	全部	206P (120分)		2013/05/07 17:15:15
	友達に薦められて読んでみましたが、様々な系統別の統計データが多用されている本でした。ただ			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

コアラ ☆☆☆	自分が東急田園都市線沿線に住んでおり、居住ブロック別のイメージランキングで常に上位に位置していたので少し嬉しくなりました。この本を読んで、地域毎に不足している要素を自分なりに考えてみたいと思いました。都市計画やまちづくりに興味がある人は是非読んでみてください！		
	全部	206P (100分)	2013/04/19 21:08:51

ruke ☆☆☆☆	正直データが活字の大半を占めている章は個人的に面白くないので、軽く読みました。全体の内容は都市について興味がある人は一読することをお勧めします。興味がない人には面白くないと思います。現状を知り、今後どういう開発が求められているのかを知る手がかりが色々と隠れていると思います。この本を読んだ上で、各々読者が今後の日本の都市をどう考えるか、そんなきっかけを与えてくれる本でした。		
	P1-P101,P152-206	156P (150分)	183-203ページ 2013/04/14 18:14:50

ほしほし ☆☆☆☆	郊外の土地価格が下がり続けている。とあるニュータウンでは、300万円でマンションが購入できるという。建物の老朽化や、長い通勤時間によって郊外の住民数も減り続けている。こうした郊外に価値を生み出すにはどうすればよいか。本書では、ブランド型と実用型の価値創造を提案する。		
	1-206ページ	206P (129分)	1-7 2013/04/11 20:44:21

[TOP](#) ^